

# 庄瀬小学校創立百周年記念式典

## 式次第

- 一 記念式典
  - 一 開式のことば
  - 二 実行委員長 あいさつ
  - 三 学校長あいさつ
  - 四 来賓祝辞
  - 五 児童喜びの声 呼びかけ
  - 六 児童による小学校の歴史劇(五年生)
  - 七 校歌斉唱
  - 八 閉式のことば
- 二 記念音楽会
  - 一 児童による箏の演奏(六年生)
  - 二 トークと音楽
  - 三 「私の小学校時代と音楽」
  - 四 平山 征夫様
  - 五 牧田 由起様 ヴァイオリン
  - 六 金子 陽子様 ピアノ



新潟日報 2008年(平成20年)11月11日(火曜日)

## 庄瀬小100歳 歴史に誇り

記念式典 児童が劇で振り返る



庄瀬小5年生の児童が劇を披露した創立100周年記念式典  
＝8日、新潟市南区の同校体育館

## 児童歴史劇の あらすじ

- 庄瀬小学校の沿革誌には、渡し船の転覆事件ということが庄瀬小学校の設立のきっかけになったことがはじめに記されています。
- 高等科も含めた学校の設立が叫ばれていたのですが、ちょうど戦争に突入する時代で先延ばしになっていました。

新潟市南区の庄瀬小学校の創立百周年を祝う記念式典が8日、同校体育館で開かれた。在校生や新入生、卒業生など約400人が参加した。式典は、庄瀬小学校の歴史を振り返る劇や、児童による箏の演奏、来賓祝辞、学校長あいさつ、児童の喜びの声、校歌斉唱、閉式のことばなどがあった。

庄瀬小学校は、明治27年(1894年)に創立された。創立100周年を記念して、今年11月8日(火曜日)に同校体育館で創立100周年記念式典が行われた。

式典には、庄瀬小学校の歴史を振り返る劇が披露された。劇は、庄瀬小学校の歴史を振り返る劇を披露した。寺の住職や村長、住民などに扮した児童は、ステージ上で

学校沿革誌によると、同校開校前、地域の子どもたちは信濃川対岸の学校に通っていた。一八〇四(明治三十七年)風波のために船が転覆する事故が起き、それが学校統合のきっかけになったとされている。式典では五年生の児童二十二人がその出来事も交えながら同校の歴史を振り返る劇を発表した。寺の住職や村長、住民などに扮した児童は、ステージ上で

- 高等科の児童が渡し船で田上の学校に通っていた12月、強い風で船が転覆しました。
- 九死に一生を得た子供たちの姿に驚き、村人はすぐに高等科も含めた設立を行ったのです。
- 設立以来、全国のサッカー大会に出場したり、庄瀬小学校の子供は大活躍。今年の市の陸上記録会でも子供たちは活躍しました。

## 6年生による 箏の演奏

曲目 七夕 茶つみ  
夕やけこやけ 砂山



## 和楽器の学習について

- 平成18年度より、5・6年生が、文化庁の「学校への芸術家派遣事業」の補助を得て、音楽の時間に和楽器の学習を始めました。「ネットワーク・新潟」の小林和子さん、正派生田流 小奈立子先生等の指導によります。また、一斉に学習するため白南中学校より、箏をお借りしております。
- 今年度、新潟市の小・中学校音楽推進設備整備事業で箏を4面買っていただき、練習がしやすくなりました。
- 教育基本法が改正され、新たに「伝統の継承」を目指すことが盛り込まれました。また、新学習指導要領の音楽科の学習でも、「国際社会に生きる日本人としての自覚の育成が求められる中、我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を基盤として、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに他国の音楽文化を尊重する態度を養う観点から、学校や学年の段階に応じ、我が国や郷土の伝統音楽の指導が一層充実して行われるようにする。」ことが、改訂の趣旨として示されました。
- 昨年度から、りゅーとびあで行われる新潟市の音楽祭に参加しました。新潟市の音楽祭始まって以来、初めての箏の演奏ということで、好評をいただきました。



○庄瀬地域で行われる農村公園祭や芸能祭でも、有志の子供たちが浴衣を着て出演して演奏を披露し、地域の人々に喜ばれています。



○休み時間、6年生教室の方から箏の調べが聞こえます。子供たちが、教室前のオープンスペースに置かれた箏の練習をしているのです。

庄瀬小学校では、これからも、日本の伝統文化に触れさせながら豊かな情操を培っていきます。

# 音楽会プログラム



トーク 平山征夫氏 国際情報大学学長 前新潟県知事

- 1 庄瀬小学校百周年のお祝い
- 2 私の小学生時代



- ・小学校時代は、一番感受性が豊かな時です。感動は人間らしい優しい心を創ってくれます。心の栄養になる音楽、美術等に沢山触れてください。
- ・将来どんな人になりたいですか。皆さんにとって一番大切なことは何ですか。  
—— 入道雲が教えてくれたこと。
- ・おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんも通ったこの学校は、地域の人たちにとって心の故郷です。大きくなった時、小学校の時のことが支えになるでしょう。 —— 私の卒業文集で書いたこと。



## トークと音楽 「私の小学生時代」

ヴァイオリン 牧田 由起氏 ピアノ 金子 陽子氏

「浜辺の歌」成田為三 作曲



「トルコ行進曲」モーツァルト作曲 ピアノソナタ 第11番

イ長調 K. 331 第3楽章

「チゴイネルワイゼン」サラサーテ 作曲

「ユーモレスク」ドヴォルザーク 作曲

「愛の挨拶」エルガー 作曲

「チャルダッシュ」モンティ 作曲



## プロフィール

昭和42年3月 横浜国立大学経済学部経済学科卒業  
 昭和42年4月 日本銀行入行  
 昭和54年5月 日本銀行神戸支店営業課長  
 平成元年5月 日本銀行新潟支店長  
 平成4年10月 新潟県知事就任  
 平成8年10月 新潟県知事再選  
 平成12年10月 新潟県知事三選  
 平成16年10月 新潟県知事退任  
 平成17年4月 長岡技術科学大学特任教授  
 現在 国際情報大学学長 新潟市中央区在住

平山 征夫 氏



○4歳よりヴァイオリンを始める。  
 ○全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門 東京大会  
 小学生の部 第3位 中学校の部 第2位  
 ○日本モーツァルト音楽コンクール奨励賞  
 ○国際モーツァルトコンクール派遣者選考演奏会2001優勝  
 ○これまでに高橋良之、故久保田良作、勅使河原真実、  
 辰己明子の各氏に師事。  
 ○大阪センチュリー交響楽団と共演。  
 ○新潟・上越でリサイタルを開催する他、各地でのコンサートに出演。  
 ○桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部を卒業。  
 ○現在、上越市清里区に在住し、演奏活動を行っている。

牧田 由起 氏



○桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」新潟分室、  
 同女子高校音楽科を経て、同学園大学音楽科ピアノ専攻卒業。  
 ○これまでに、内宮弘子、金澤希伊子、久保山佑子の各氏に師事。  
 ○現在、北越楽器ピアノ科講師の他、長岡を中心にピアニストと  
 して活躍している。  
 ○ソロ、室内楽などでさまざまなコンサート出演の他、オペラ、  
 音楽コンクールの伴奏ピアニストとしても活躍。

金子 陽子 氏



### \*\*\* 児童 喜びの声 \*\*\*

刈田をわたる さわやかな園 コスモスのゆれる秋  
 私たちのおじいさん おばあさん お父さん  
 お母さんが通った 庄瀬小学校  
 今年 庄瀬小学校は100歳の誕生日を迎えました  
 おめでとうございます  
 助け合い 声かけ合って登った護摩堂山  
 力いっぱい きねでつく もちつき大会  
 カンカン照りの暑い日も 飛ばされそうな園の日も  
 私たちを育ててくれた 庄瀬小学校  
 ありがとうございました  
 私たちは 豊かな心 強い体を目指して  
 新しい庄瀬小学校を 作っていきます  
 これからも 見守っていてください。

### 来賓の皆様を茶道でおもてなし 茶道クラブと6年生



(写真提供 夢工房)